

# MOTIF XF Extension 取扱説明書

## 目次

MOTIF XF Extensionとは .....	2
Extensionで実現される機能 .....	2
オーディオドライバーの自動設定 .....	2
リモートデバイスとして自動設定 .....	2
入出力バス設定済みのプロジェクト テンプレートを用意 .....	3
MOTIF XF6/7/8のソングの読み込み .....	4
困ったときは .....	6

## ご注意

- このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアをインストールする前に、必ずソフトウェア使用許諾契約をお読みください。ソフトウェア使用許諾契約は、MOTIF XF Extensionインストールガイドの巻末に記載されています。
- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- MOTIF XF Extensionは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。  
最新ソフトウェアは、下記URLからダウンロードできます。  
<http://www.yamahasynt.com/jp/downloads/>
- このマニュアルに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- CubaseはSteinberg社の登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft® Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会 (AMEI)の登録商標です。
- その他、このマニュアルに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェア (製品のファームウェアなど) および一部の機能や仕様の変更については、下記URLをご参照ください。  
<http://www.yamahasynt.com/jp/>

# MOTIF XF Extension とは

MOTIF XF Extension (以下Extension)は、Steinberg社製DAWソフトウェアの機能拡張を目的としてヤマハが開発したプログラム(プラグイン)とプロジェクトテンプレート集です。このプログラム(プラグイン)をインストールすると、Steinberg社製DAWとMOTIF XF6/7/8を組み合わせる場合に、さまざまな連携機能を実現できます。

本書では、CubaseシリーズおよびExtensionがインストールされたコンピューターに、USBケーブルまたはIEEE1394ケーブルを使ってMOTIF XF6/7/8を接続した場合について説明します。なお、MOTIF XF6/7/8のソングの読み込みについては、USB記憶装置を準備するか、MOTIF XFとコンピューターをイーサネットケーブルでネットワーク接続しておく必要があります。

- NOTE**
- Extensionで実現される機能(「ソングの読み込み」は除く)をすべて活用するためには、別売りのFireWire拡張ボード(FW16E)が装着されている必要があります。本書では、MOTIF XF6/7/8にFW16Eが、すでに装着されている前提で説明を行いません。
  - Extensionのバージョンにより対応するCubaseのバージョンは異なります。動作環境について詳しくは下記URLまたはお使いのExtensionに付属のリリースノートをご覧ください。  
<http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/>

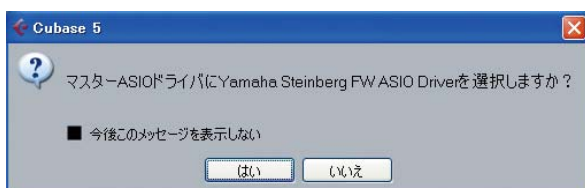
## Extensionで実現される機能

Extensionをインストールすると、CubaseシリーズとMOTIF XF6/7/8とを組み合わせると、以下の機能を実現できます。

- オーディオドライバーの自動設定
- リモートデバイスとして自動設定
- 入出力バス設定済みのプロジェクトテンプレート
- MOTIF XF6/7/8のソングの読み込み

### オーディオドライバーの自動設定

Extensionをインストールしておく、Cubase起動時に下記画面が表示され、[はい]をクリックすることでSteinberg DAW対応ドライバー(Yamaha Steinberg FW Driver)に自動的に切り替えられます。

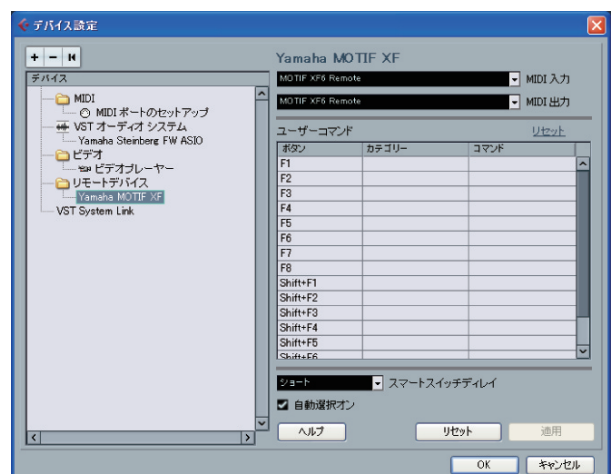


- NOTE** この機能を実現するため、Cubaseを起動する前にMOTIF XF6/7/8本体とコンピューターをIEEE1394ケーブルで接続し、MOTIF XF6/7/8本体の電源を入れておいてください。

### リモートデバイスとして自動設定

MOTIF XF Extensionをインストールしておく、MOTIF XF6/7/8をコンピューターにUSBケーブルまたはIEEE1394ケーブルで接続しCubaseを起動するだけで、MOTIF XF6/7/8がCubaseのリモートデバイスとして自動的に登録されます。MIDIポートなども自動的に設定されます。[デバイス] → [デバイス設定]で呼び出されるデバイス設定画面上で確認してみましょう。

MOTIF XF6/7/8のパネル上でのリモート機能の割り当てについては、MOTIF XF6/7/8の取扱説明書およびデータリストをご参照ください。



表示されるMOTIF XF6/7/8のリモートデバイス名、および各リモートデバイスに設定されるMIDIポート名は以下になります。

リモートデバイス名：Yamaha MOTIF XF

設定されるMIDI In/Outポート：

- IEEE1394ケーブルによる接続の場合  
Win: MOTIF XF6/7/8 Remote  
Mac: MOTIF XF6/7/8 Remote
- USBケーブルによる接続の場合  
Win: Yamaha MOTIF XF6/7/8-2  
Mac: Yamaha MOTIF XF6/7/8 Port2

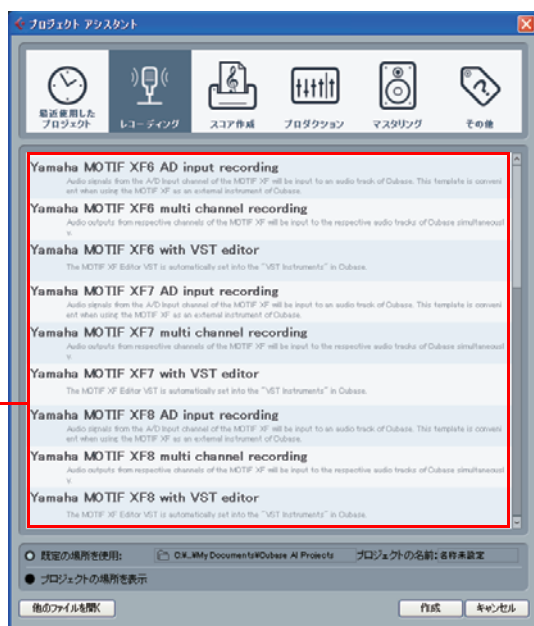
**NOTE** Cubaseを起動して自動登録されたあとにMIDIポートを変更した場合でも、再起動すると上記のMIDIポートに再設定されません。

## 入出力バス設定済みのプロジェクトテンプレートを用意

Extensionをインストールすると、MOTIF XF6/7/8用のプロジェクトのテンプレートがインストールされます。Cubaseで新しいプロジェクトを作成するときに、このテンプレートを選択すると、VSTコネクションの入出力バスが設定済みのため、複雑なオーディオポートとバスの設定を手動で行なうことなく、すぐにマルチオーディオ録音などが行なえます。

**NOTE** プロジェクトテンプレートとMOTIF XF6/7/8本体の設定を一致させるため、MOTIF XFエディター VSTあるいは本体ADのOutputをFW13&14に設定してください。

**NOTE** プロジェクトテンプレートを選択すると、それまで設定されていた入出力バスの設定は上書きされます。



MOTIF XF6/7/8用プロジェクトテンプレート

## MOTIF XF6/7/8用プロジェクトテンプレート

### • Yamaha MOTIF XF6/7/8 multi channel recording

Cubaseの各オーディオトラックに、MOTIF XF6/7/8の各チャンネルのオーディオ出力がマルチで入力される設定です。MOTIF XF6/7/8のオーディオ出力をマルチで録音したいときにお使いいただくと便利です。

VSTコネクション画面の入出力バスとデバイスポートの設定は、以下のとおりです。

Cubase Inputs	
Input Bus	Device Port
MOTIF XF Main	MOTIF XF6(7,8) Main L
	MOTIF XF6(7,8) Main R
MOTIF XF 1/2	MOTIF XF6(7,8) 1
	MOTIF XF6(7,8) 2
MOTIF XF 3/4	MOTIF XF6(7,8) 3
	MOTIF XF6(7,8) 4
MOTIF XF 5/6	MOTIF XF6(7,8) 5
	MOTIF XF6(7,8) 6
MOTIF XF 7/8	MOTIF XF6(7,8) 7
	MOTIF XF6(7,8) 8
MOTIF XF 9/10	MOTIF XF6(7,8) 9
	MOTIF XF6(7,8) 10
MOTIF XF 11/12	MOTIF XF6(7,8) 11
	MOTIF XF6(7,8) 12
MOTIF XF AD in	MOTIF XF6(7,8) 13
	MOTIF XF6(7,8) 14

Cubase Outputs	
Output Bus	Device Port
MOTIF XF Main	MOTIF XF6(7,8) Main L
	MOTIF XF6(7,8) Main R
MOTIF XF Asgn	MOTIF XF6(7,8) Asgn L
	MOTIF XF6(7,8) Asgn R
MOTIF XF FW	MOTIF XF6(7,8) FW L
	MOTIF XF6(7,8) FW R

### • Yamaha MOTIF XF6/7/8 AD input recording

Cubaseのオーディオトラックに、MOTIF XF6/7/8のADインプットチャンネルの信号が入力される設定です。入出力バスとデバイスポートの設定は、上記Yamaha MOTIF XF multi channel recordingと同じです。ただし、入力バスの設定はMOTIF XF AD inのみになっています。

### • Yamaha MOTIF XF6/7/8 with VST Editor

CubaseのVSTインストルメントトラックに、MOTIF XFエディター VSTが自動的に追加された設定です。

**NOTE** MOTIF XFエディター VSTは下記URLよりダウンロードしてください。

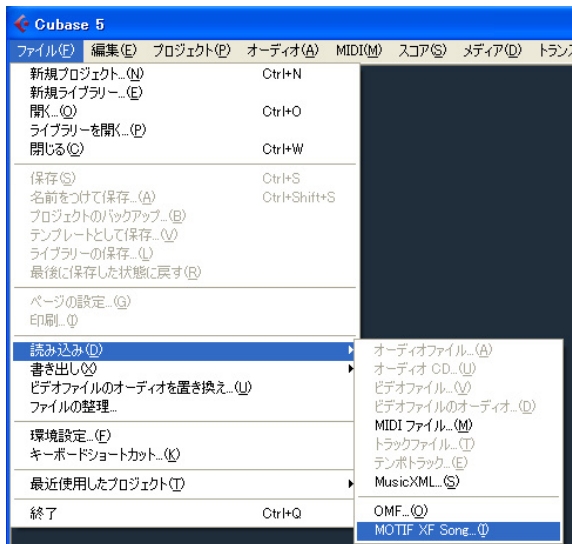
<http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/>

## MOTIF XF6/7/8のソングの読み込み

MOTIF XF Extensionをインストールすると、MOTIF XF6/7/8のソングデータをCubaseのプロジェクトに読み込むことができるようになります。MIDIイベントだけでなくトラックに録音されたオーディオデータも合わせて読み込まれます。ただしミキシング設定は読み込まれません。

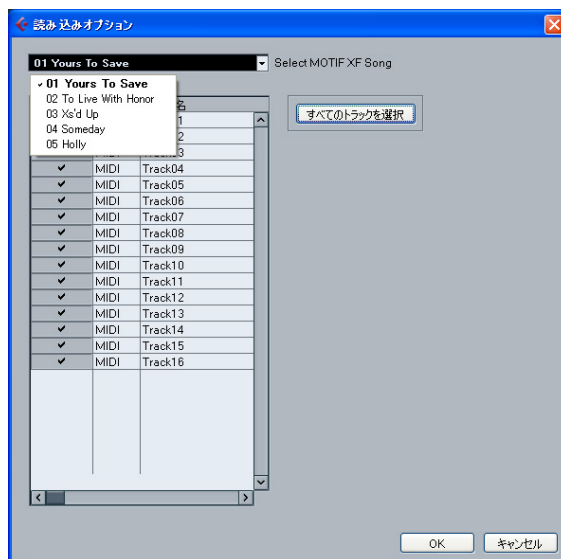
ソングの読み込みは、以下の手順で実行できます。

- 1** MOTIF XF6/7/8のファイルモードで、MOTIF XF6/7/8本体で作ったすべてのユーザーデータ (ファイルタイプ = All) を、USB TO DEVICE端子に挿入したUSB記憶装置に保存(セーブ)します。
- 2** USB 記憶装置をMOTIF XF6/7/8からはずし、コンピューターのUSB端子に挿入します。  
USB記憶装置には、拡張子「.X3A」のファイルがUSB記憶装置に保存されます。  
なお、MOTIF XF6/7/8がコンピューターとイーサネットケーブルでネットワーク接続されている場合は、保存先(セーブ先)としてコンピューターのハードディスクドライブを指定できます。
- 3** コンピューター上で、[ファイル]→[読み込み]→[**MOTIF XF Song**] を選択します。  
「読み込み MOTIF XF Song」画面が表示されます。

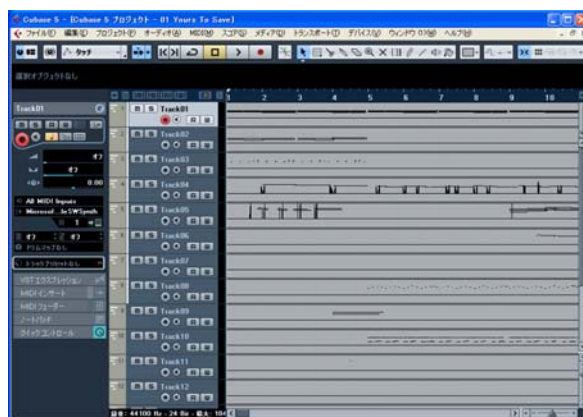


- 4** 「読み込みMOTIF XF Song」画面で、手順1で保存されたファイル(拡張子: X3A)を選び、[OK]をクリックします。  
ディレクトリーの選択画面が表示されます。
- 5** ディレクトリーの選択画面で、Cubaseのプロジェクトファイルの保存先を選択し、[OK]をクリックします。  
読み込みオプション画面が表示されます。

- 6** 読み込みオプション画面で、読み込むソングをプルダウンメニューから選択し、取り込むトラックをチェックした上で[OK]をクリックします。



画面上部のポップアップメニューから読み込みたいソングを選び、続いて読み込みたいトラックを選びます。ソング全体を読み込みたい場合は「全てのトラックを選択」をクリックします。ソングとトラックを選択したあと、[OK]をクリックして読み込みを実行します。指定したソングの各トラックデータがCubaseのプロジェクトの各トラックに読み込まれます。



## 読み込むソングについて

### ファイルとプロジェクトについて

- 読み込みの対象は、MOTIF XF6/7/8の「All」タイプのファイル(拡張子: X3A)だけです。ソングデータで使用されているウェーブフォームがフラッシュメモリーエクステンションモジュール(FL512M/FL1024M)に保存されている場合、必ずFL1/FL2を「with sample」に設定してからAllファイルをセーブしてください。「without sample」でセーブされたAllファイルを読み込んでも、ソングのサウンドが再現されません。
- ソングの読み込みで作られたプロジェクトのサンプリング周波数は44.1 kHzになります。したがって、MOTIF XF6/7/8がソングモードでサンプリング周波数 = 44.1 kHz以外でサンプリングされたサンプルボイスは、ソング読み込み後のプロジェクトで、正しいピッチで鳴りません。サンプルボイスを含むソングをCubaseに読み込みたい場合は、MOTIF XF6/7/8がソングモードでのサンプリング時の周波数を44.1 kHzに設定してください。

### MIDIトラックについて

- MOTIF XF6/7/8のソングのMIDIトラックは、そのままMIDIトラックとしてCubaseプロジェクトに読み込まれます。各トラックに設定されているMIDI送信チャンネル設定も、そのまま引き継がれます。
- ユーザーウェーブフォーム(ソングモード以外のモードでのサンプリングで作られたもの)を使ったボイスで録音されたトラック、つまりサンプルボイスを使っていないトラックは、MIDIトラックとして読み込まれます。
- MOTIF XF6/7/8のソングのミキシング設定は読み込み対象にはなりませんので、ボリュームやパンは「オフ」に設定された状態でプロジェクトに読み込まれます。

### オーディオトラックについて

- MOTIF XF6/7/8のソングのオーディオトラック(サンプルボイスを呼び出すプログラムチェンジが記録されているトラック)は、そのままオーディオトラックとしてCubaseプロジェクトに読み込まれます。
- ミキシング設定は読み込み対象にならないので、ボリュームは0dB、パンはセンター、EQはフラットに設定された状態でプロジェクトに読み込まれます。
- 「全てのメディアファイルを読み込み」にチェックを入れていない場合、サンプルボイスのウェーブフォームを構成するサンプル(波形)のうち、実際にソングトラックに録音されているノートナンバーが所属するキーバンクのサンプルだけが、プロジェクトへの読み込み対象となります。ソングトラックで使われているサンプルボイスの全サンプル(波形)を読み込みたい場合は、「全てのメディアファイルを読み込み」にチェックを入れてください。

### その他

- ソングの読み込みでは、MOTIF XF6/7/8のソングのトラックに録音されたデータだけが対象になります。ミキシング設定はプロジェクトに読み込まれないので、ご注意ください。ミキシング設定を反映させたい場合は、MOTIF XFエディターVSTを使用します。Cubase上からMOTIF XFエディターVSTを起動し、MOTIF XFエディターVSTから「All」ファイル(拡張子: X3A)を呼び出すと、ソング指定を促すメッセージが表示されます。ここで、プロジェクトに読み込んだのと同じソングを指定すると、ミキシング設定がMOTIF XFエディターVST上に読み込まれます。続いて、MOTIF XFエディターVST上でSync機能を実行すると、指定したソングのミキシング設定がMOTIF XF6/7/8本体に反映されるので、Cubaseを再生させたときにオリジナルソングのサウンドが正しく再現されます。
- パターンデータやアルペジオデータは読み込まれません。
- 読み込んだソングをMOTIF XF6/7/8に戻すことはできません。

## 困ったときは

### MOTIF XF6/7/8からCubaseをリモートコントロールできない

- MOTIF XF6/7/8とコンピューターがIEEE1394ケーブルまたはUSBケーブルで接続されていますか？
- 正しいドライバーがインストールされていますか？
- インストールしたExtensionのバージョンに対応するCubaseのバージョンをお使いですか？  
Extensionのバージョンにより対応するCubaseのバージョンは異なります。動作環境について詳しくは下記URLまたはお使いのExtensionに付属のリリースノートをご覧ください。  
<http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/>
- Cubaseのデバイス設定ウィンドウ([デバイス]メニュー → [デバイス設定])で、リモートデバイスとして「Yamaha MOTIF XF」が登録されていますか？  
また、MIDIの入出力のポートとして「MOTIF XF6/7/8 Remote」または「Yamaha MOTIF XF6/7/8-2」または「Yamaha MOTIF XF6/7/8 Port2」が選択されていますか？  
選択されていない場合は、手動で設定しなおしてください。

### プロジェクトテンプレートがない

- Cubaseのプロジェクトアシスタントで"レコーディング"のタブを選択していますか？
- Extensionが正しくインストールされていますか？
- プロジェクトテンプレートファイルは以下の場所にインストールされています。

#### Windows

C:\Program Files\Common Files\Steinberg\Project Templates

#### Mac

/Library/Application Support/Steinberg/Project Templates

### MOTIF XF6/7/8のソングをうまく読み込めない

- Cubaseのバージョンは5.1.1以上ですか？
- 読み込みオプション画面のプルダウンメニューでソングを選べない場合、または読み込んだソングのトラックデータが空だった場合は、MOTIF XF6/7/8で録音したソングを本体内部メモリーにストアせずにUSB記憶装置にセーブした可能性があります。  
MOTIF XF6/7/8でソングを録音した場合は、必ずストアを実行してから、セーブを実行してください。